

令和2年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	1 被災者(国保世帯)は医療費の支援でだいぶ助けられている。 2 医療費の支援が打ち切られた後の生活で、住宅再建に伴う借入金の返済に困る世帯が出てくるのではと心配している。 3 震災後頼りに少子化が進んでいるように思う。学校においては生徒数の減少に伴う学校の統合、スポ少では団員の減少により運営が難しくなってきた。 4 持続可能なまちづくりは「結婚そして子づくり」が大事と思う。 プライバシーの保護とか個人情報とか難しい問題があるが、皆が本気になって皆の幸せのために、ひと肌ぬぐ(お節介)ことも必要と思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	区画整備された土地にはおおむね住宅が建築されていると感じる(再建意志のある人)戻ってこない人の土地は空地として残ってはいるが。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	関谷担い手仮設団地(当初80世帯で178人で発足)では、令和元年12月末の段階で4世帯を残し転居した。残留4世帯も住宅復興再建中で3月末までにめでたく転居予定である。但し、昨年の台風19号の山津波の災害が発生、山田町も80数世帯が罹災する大惨事となった。急遽当該団地へ6世帯(10室ほど入居)ほどが、臨時入居した。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	山田町の中心部でまだ新築の工事があ。建築設計は少なくなったと聞いた。雇用については被災関連の仕事についている人がまだいる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住環境は自力再建、公営住宅、三陸鉄道、三陸自動車道等の開通、防潮堤は近々完成、消費受入のチェーン店の進出と被災前の環境を追い越す勢いではあるが、それに伴う雇用の創出は足踏み状況と思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	落ち着いて生活出来ていると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	避難所・仮設住宅と明日が見えずに日を暮らしていた時、多くの皆様方から多大なるご支援、お心を頂き、それが大きな力となり今の私達がある。本当にありがとうございました。今、復興住宅、又個々に再建を果たし前に進んでおり、仮設住宅もそちこちで解体が行われている。11月には私どもがお世話になった仮設住宅が大きな機械で解体されていた。仮設での暮らしは寄り添い助け合ってきたことが懐かしく思い出され、ホロっとした。103歳の姑もここで亡くなった。住民が落ち着いた暮らしの中、新たに山手に再建して安心していた矢先、台風19号がまたまた住民に被害をもたらし、なんともお気の毒で早く立ち直ってくださるよう願っている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡市ではプレハブ仮設住宅の入居者がゼロになり、住まいの確保がほぼ終了した。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	被災した方々がほぼ自宅を再建、災害公営住宅への転居を完了している。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	回復したが、震災前のような住環境には戻らない。(店が無い、住民の分散等により)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	浜の被災が大きかったけど今は順調に回復している。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域の被災者の防集での移転が完了し軒並新築の住宅が建っている。仮設住宅があったところは更地になり防集で整備されている地区の一角に屯所や地域公民館も建ち、公民館活動もなされている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	独り住まい、他からの入居者の全てが当地への住居を断念。家族(息子・娘)の元へ転出した。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活が落ち着いた雰囲気がある。笑顔に不自然さがなく心から笑えるようになってきている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前から行われていたイベントに加え、にぎわい復活のための新イベントも企画され、多数の来場者の参加を得ている点などを見ると被災者の生活もかなり回復していきいていると感じる。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	全ての建設が終わった様に思われる。(再建)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	話題にもならなくなるくらい回復した様。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	地域の仮設住宅もなくなり自宅再建等が進んでいる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	生活は回復した。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	・復興住宅の建築や高台団地の完成。移住。 ・仮設住宅の撤去 ・親族の被災者が落ち着いた生活を送っていること。但しR1年の台風19号や数年前の台風10号等の災害による被災者の支援も急務と考える。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	災害公営住宅の建設も終了し、仮設住宅での生活者もほぼいなくなっている状況がある。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	東日本大震災からの回復ということに関わっては、震災前の状況とほぼ同じに戻ったと思うので。(しかし台風19号災害があり、その回復は進んでいない)
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	今年度は震災の被害に遭われた方々が5人も転勤してこられて、それまでは1~2人程度だったのが職員の半数を超えた。職場の雰囲気が変わりこれまで震災については話をすることはタブーとされていた感じはあったが、被害に遭われた方々同士で話をしたのか、被害に遭っていない私にもポツリポツリと震災の話をしてくださるようになった。一緒に仕事を3年目になるが、その人の心の方も話すことが出来る状況になってきたのかもしれない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	住居、仕事など様々な面で不自由を感じるような場面がほとんど見られないから。ただ台風19号の被災者で現在撤去予定だった仮設に入っている方々もいるので何とも言えない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	仮設住宅が無くなり、高台住宅が増えた。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	住宅環境も整い、落ち着いて生活できているように思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅の再建をした人が増えたがまだまだ空地がいっぱいある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	31年1月調査とほぼ同じ理由のため
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私が住んでいる今泉地区は住宅が高台、かさ上げ地区ともに建設されてきているが、商店が一つもない。これからどうなるのか心配である。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住環境を見れば一見良くなったように見える。高台地の方も新築なので良く見える。住民交流の方がちょっと？しかたないと思う。老人ばかりが多いので。田舎は自給が多く見えたのだが庭畑でも今はそれが不可能と成ったと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	住宅再建が進み日々の生活は安定して来たと感じる。今後は地域のコミュニティーをどう造り上げていくか課題と思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅に住んでいる方が少数になってる。住宅を再建している地区が多く見られる
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	日に日に、最重要課題である自力再建が進み、住宅戸数も増え、新たな街づくりに向けて着実に前進している。 一方、災害公営に入居している方々は様々な地区からの集まりであるためコミュニティ形成が思うように進んでいない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	高台造成地、公営住宅完成から3~4年経て仮設住宅も解体されてきた。周囲の人の生活は震災の影響を感じさせなくなったと感じる。ただし2ヶ前の台風19号で新たに被災(ほとんどが震災から再建した人)が発生した。残っていた仮設住宅に入居出来てよかったが、これからの再建が大変と思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の中にはいまだにみなし仮設で生活を続けている方々がいるので、100%回復したとは言えない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	住宅の再建はより進み商業施設での買い物は活発な状況が見られ、だいぶ落ち着いてきている。 しかし個人差があり、支援を必要としている方々へのフォローをどうするのかという課題がある。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	うちの地区の場合、活気が徐々になくなってきているので被災前と比べてある意味回復している。 人それぞれだが必要最低限の生活が出来るところまで復興させていただいたのでも「回復した」でもいいのかもしれない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	高台への移転がだいぶ進み住居に関しては落ち着いているが住居と商業施設等の距離が離れ、自動車が無ければ生活に支障をきたす状況。 また、小学校の移転、道路工事等で今まで徒歩での登校が車になったりしている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設住宅も集約されてきた。建設業の方々が新築物件が少なくなってきたという話をよく耳にすることから、仮設を出て住宅を再建できた方々がだいぶ増えたのだと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	釜石市を含め沿岸部にはまだ仮設住宅にお住まいの方がいらっしゃるのが散見される。また一部の地域には道路が震災後もそのままになっている箇所があり、道路の整備も含めて完全に回復したとは言えないと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	道路は特に利用しやすくなった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前と比較はできないながら、現存の状況の中でお互いが環境に慣れるよう助け合いながら生活している様子が見受けられる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	インフラ整備充実し回復している兆しは感じる事が出来る。しかし度重なる自然災害により前後している様な気がする。 災害に強い町づくりという言葉はあるが、完全なものはないと思うが常に災害に大きく左右されている状況は変わっていない気がする。 新しいコミュニティは形成されてきているが、高齢者にとって長年住み慣れた環境を変える事は難しいと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	雇用の数値は良いが生徒数の減少により地元就職の人数が少なく地元経済に不安。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	仮設住宅の撤去が進み、被災前の生活にもどりつつあると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から9年目となり平穏な生活が続いているようだが、台風19号が一部に影響しているように思われる。住宅もほぼ完成し震災以前に戻りつつあるようだ
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡市の中心市街地は着実に復興し建物の建設も進んでいるが、そのスピードは鈍化している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	陸前高田市は県内他市町村と比較し津波による被害も甚大であったことから、回復は遅れている。高台造成地の完成により住宅再建が進んだ一方で区画整理の遅れから再建の目途が立たず仮設での生活を余儀なくされている。また、土地の換地・引越の遅れから生活の場を他所に決め換地後の土地が空地となるケースも少なくない。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	RWC2019釜石開催効果により三陸道・三鉄等各種インフラの整備が進んだ。 10月12日台風19号、フル稼働するはずのポンプが上手く稼働せず甚大な被害をもたらした。 (市内中心部では大町、千鳥町)
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	(1)被災前は不明だが、着実に回復に向かっていると感じる。住環境については山田駅前の地価が高止まりしており、手が出せないのが実情。 (2)インフラの整備が進んでおり、回復を実感できる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	消費税がまたあがったので今後の生活に不安を感じている。買い物の回数や買い方が減っているように思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	復興道路が各地で工事が行われている。野田村の防潮堤工事が進んでいる。宇部川地区、県営経営体育成基盤整備事業及び農用地災害復旧関連区画整理事業が進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災における住居など建物の被害については概ね回復しているほか、平成28年の台風10号による被害についても災害公営住宅の完成によって回復してきているものと感じている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	新しい道路が完成したり災害公営住宅が完成したりハード的な生活基盤は整い、便利になっている。しかし、災害公営住宅に空きが多いと聞いたことがあり一方で住宅を探している人もおり有効な利用が出来れば良いと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	台風19号は痛手だった。津波で流され、高台に新築(山田町田の浜地区)した姉の家が二度目の被災。また復興のシンボルの三鉄も不通になり町の活気も失われたような気がする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅がかなり少なくなり、日常生活で被災を意識する場面も少なくなった。ただし、震災前を完全に回復している状況とまでは至っていない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	フラッシュバック等、精神面につきましては不安定なままだと感じる(特に大人)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	新しく建設されたお店や住宅が増えた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	普代村は震災による被害はそれほど大きくないと言われているが普代浜はまだ復旧工事中である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	私の職場では季節工を募集しているが、震災直後は人が集まらなかったが、今は人が集まるようになってきた。これは逆に言えば常用で働ける場所が少なくなっているという事ではないか？
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	特に変わりなく思える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	まだまだコミュニティ作りは進んでいないと思う。地域力をつけるためにもコミュニティ作りの取組に力を入れることが求められていると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	9年目となり住居移転に伴い、コミュニティ形成はできている一方、以前の地域については空地が目立ち、今現在以上は回復は見られないと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	三陸道の整備や集団移転地への住宅再建、公営住宅入居などは完了した。ハード面の整備は進んだが、住宅再建した世帯はローンの返済、公営住宅入居世帯は家賃の支払いなど経済的には以前より苦しい世帯が多いと思われる。このため、医療費の無料化は本当に助かっており、当面継続をお願いする。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	半年前とは特に変化は感じられない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	津波の被害からはどうにか元の生活に戻ったが、今度は台風19号で自家がまた全壊した。また1から再建しなくてはいけなくなった。津波から守る防潮堤のためにどうしたらよいかわからない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	地元の仮設が無くなった。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	仮設住宅が撤去され、復興住宅や新しい住宅に入居して住宅面については回復してきたのではないだろうか。しかし具体的なことは分からない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	住宅事情は確かに良くなってきていると思うが、人口減少や経済的な面で苦慮している人々がいることを考えるとどちらとも言えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	人口の減少は続いている。 働く場所(特に若者)が少なく定着しにくい
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	回復しているのではないかと思っているが、直接周辺の方々の意見を聞くことがあまりないのでどちらとも言えない。 ただし震災だけでなく台風19号による被災もあり、苦勞されている方は多いのではないかと推察する。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	東日本大震災での被災した方々については概ね震災前の状態に回復したと思う。ただし、平成28年の台風被害やこの度の台風19号による被災によって更なる追い打ちによりいまだ復興途上と言わざるを得ない。地域の経済力からして時間がかかるものと思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	被災者の方々の生活は元に戻った様に見えるが、借金残っていると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	だいたい回復しているので「進んでいる」とは思わないが進んでいないともいえないので。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	被災者の方々は住まいの復興はかなり進んでいると思う。しかし当市は区画整備事業が遅れ、今だに仮設住宅に入居されている方々が一部見受けられる。又、一部の個人の自立再建の予定者がそれぞれの理由で未だに仮設住宅住まいの方々も見受けられる。その方々のほとんどが3月末日をもって仮設からの退居が決められており、苦心されている方もいる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災後は復旧が進むにつれて生活の回復の兆しが見えたがその後の台風被害や急激な少子高齢化による人口減少などで生活の回復感をあまり感じない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	(1)被災した方々、住、再建して住民の皆さん、生活の回復を目指している。 (2)私達の町は浜の不漁、サケ、スルメイカ、アワビ、水産物水揚の不漁のため心が落ち込んでいるようだ。なんとか国や県より対策願います。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	漁業者として漁がなくて不安。年々不漁になっていく。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業については(イカ・アワビ・サケ)の不漁が深刻化している。働き方改革等も大変に働きにくくなっている。高齢化もどんどん進んでいる。数年のうちに漁業が産業としてなりたたなくなっていくのではないかな？
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	被災者の方と接する機会がなかったので。
無回答	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・市内の仮設住宅も3月いっぱいと言われ、再建や公営住宅への入居により住環境は回復しつつあると思う。以前のように。。。とはいかないまでも(地域)コミュニティの構築が今後の課題と思われる。 ・市立病院や市中心部へ出かける際、お年を召した方々がやや不便を感じていることは否めない。(BRT等はあるが、全地区を網羅しているとはいえないため)

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	被災する前と比較すると今がベストかなと思うので。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	いま多くの家が建っているので今まで出稼ぎをしていた大工さんは地元で働けるので何よりと喜んでいいる。木材が使われるのが少なくまた製作所も多くの家が建つわりにはあまり忙しくないと話している。 漁業界は自然が相手なので頑張りようがない、今、温暖化が影響して魚が少なく又養殖は水温が高くて育ちが悪く死んでいる貝も多いとも話していた。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	回復はしたが、一次産業の人々は激減した。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	被災して8年目、地域経済も順調に回復していると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	街並みの景観を目にする分には回復したように思う。 ただ水産業は全体的に漁がすくなく厳しい状況のようである。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域の農業への取組は従来通りの意識を持っているが、新たに取り組んだもの(加工トマトetc)は減少中の現状にある。 原因(補助金等があっても利益性が伴わず栽培断念。年齢増、労働意欲の低下等)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前と変わらなくなった。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済が災害前に良かったわけではない事を考えると回復していると思われる。但し、水産業については非常に心配されるほどサケ・アワビ等漁獲量が減っており、地元漁業関係者から生活が大変である話を聞く。震災が影響しているかはわからないが支援が必要と考える。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	ラグビーワールドカップの地元開催により釜石市鶴住居地区の商業施設及び公共施設は増えたり市中心部で様々なイベントが催されたりし、にぎわいを感じた。甲子柿ブランドも少しずつ定着してきている。しかし柿そのものの値段が高いこと、そしてさらに加工品は自分で買いたいと思えないくらい高級なものなのでもう少し日常的に購入できるようにならないと普及は難しいのではないかと。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興工事が8年も過ぎ、震災直後の再建予定であったなりわいの復活を希望していた方々が、工事は徐々に進んでいるものの年数が経過しなりわいの再建を諦める方々も本市には多く見受けられる。当初、それぞれの意識調査の元に造成工事の計画が建てられ、再建を諦めた方々の用地が今後どのように利用されるか大きな課題となる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	昨年、道の駅がオープンし市内外より人が来るようになったと思う。地域経済の回復としてはやや進んだと思われるが私の住んでいるところはまだまだと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後住民全体で復興に向かって来た事で良く成ってきたと思っている。工事が完成した後住民の生活がどのように変化するだろうか。失業者と老人ばかりではと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	漁業関係者にとっては環境が完全に復活しておらずまだまだ厳しいと思う。 大型スーパーにしても休日だけの賑わいが目立つ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	農林水産業の基盤整備等は回復したが、サケ・イカ漁等が不漁。海水温が高いためといわれている。今後サケはこの沿岸に来ないのではと言われているようだ。定置、加工業の方々は今後大変だ。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	再建出来てるお店の客足が多くなってる様に思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設店舗から本設へと移った業種、また新規スーパーの完成等、徐々に前進していると思う。 一方で水産業はマスコミ等で報じられている通り、不漁による厳しい状況にあり今後の回復が懸念される。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	復興パブルが終了し、経済活動の落ち込みが出てきている。復興のスピードが早く建設関連の仕事が減ってきている。このままでは震災前より酷くなる可能性が出てきた。インターナショナル・リニア・コライダーの誘致が決まれば、活性化すると思われる。三陸道から大原を抜けて東北道に繋がる高速道路の建設や、地下100メートルの巨大なトンネルを利用して福島島の放射性廃棄物の貯蔵など、いろいろやり方はあると思う。 また、水産業においてはサンマやサケの不漁、ホタテの貝毒などにより、大打撃を受けている。回遊魚の資源回復は難しいが、流し網や巻網を許可している限り、資源保護は無理ではないか。さらに、ホタテの貝毒については産学官で研究、開発すれば克服できる問題なのに、取組が足りないように映る。この結果、沿岸部と県央部の経済格差がますます広がっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	国の復興交付金を活用できる令和3年3月までの間に地域課題の解決に取り組み、経済の回復を目指そうという機運が人の動きを活発化させている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住居とお店との距離が離れすぎて、車なしでは気軽に行けなくなっている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	釜石市だけに限ると三陸道の開通や三陸鉄道の全線復旧など、インフラが回復した事により以前よりも近隣地域から観光客が来ているのは実感している。その一方で人口流出が続いており、住民が減る事は地域経済に与えるダメージが大きく深刻な問題だと思っている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	復興需要による雇用の創出は一時的に生まれたが最近では震災前に戻りつつあり地域経済へ大きく影響してくると感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興工事もほぼ終わり、震災バブルも終わり水産関係はサケやイカ・サンマ等の不漁により深刻さが増しているようだ。沿岸地区においては、水産業の充実(魚の水揚げ、それに伴う水産加工等)は死活問題であることから、国・県等の対策は重要である。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災前の規模には戻っていない業界が多いように感じる。(水産加工、水産海産物販売)6か月前との比較では、水産資源の不足のせいの不況が多い。震災とは関係ないように思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	近年、水温の上昇によるものかサンマ、サケ等記録的不漁に見舞われ、漁師、加工業者の設備は整ったが成果に現れない(ホタテ貝毒等全般的に)。年々厳しさを増している。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	商工業者の仮設から本設への動きはだいぶ進んできているがやはり町の基幹産業である水産業者に影をおとす不漁問題、復興工事減少に伴う土木工事関連業者の業況低迷等、地域経済は回復期を過ぎ下降期に差し掛かっていると感じる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	仮設住宅の取り壊しが進んでいる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	水産加工業者がだいぶ新工場に移転した。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	各地で工事が行われており、失業者がいない状況である。70歳になっても働いている人が多い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	自然災害(台風)の影響が大きく、被災前と比べて「回復した」とは感じがたい。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	野球場やサッカー場の建設が進んでいる。地域活性化を考えるともう少し人が集まるような飲食店や商業施設が欲しいと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	研修等に参加する中で若い事業主の方々(農林水産業含む)の新しいビジネスプランをお聞きすることができた。様々な視点から地域経済の回復を感じられた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	RWCのおかげもあり、活気づいた気がする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	台風19号被害からの復旧がまだまだである。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	道路工事の進み具合はよく見えるのだが(ニュース・広報誌で)、湾口防潮堤の進み具合がほとんど見えない気がする。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災からの回復という点では進んでいるのだと感じるが、長期的視点に立って考えた時、人口の減少も含め地域経済の発展を目指すことは容易なことではないと不安を感じる事もある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から8年が経過し仮設住宅がなくなり、公園ができたこと(家の前にも公園が出来た)。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	基本的には30年7月調査の回答と同じ理由のため。来年度末には三陸沿岸道路の一部が開通する計画があり、田老地区は通過地になる。車の交通量は半減することが予測され、市街地中心部の道の駅は無論のこと、田老地区を通行する車のドライバーの需要を取り込んでいる商業、サービス業者には大打撃となるため。加えて復興事業関連の建設会社の出先事業所は来年度以降は田老地区から撤退するとの事であり、その後は一部を除いて空地が広がる。寂れた風景が現実のものとなる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	基幹産業である水産業の生産体制は構築されたが、漁獲量減少により先行きが心配される。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	土木建設業、建築業、資材販売業は大きく回復しているが自然環境が大きく影響していると思われるが漁業、水産業は被災前より低下している。業種間で大きく異なっている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	自然を相手とする第一次産業・第二次産業はマイナス方向への回復だったと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災の影響という意味では回復したと思う。しかし震災前からきびしい人はかわらずきびしいと思う。漁業が不振で経済の落ち込みがある。それは震災とは別である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	近年の海産物(サンマ・サケ・スルメイカ・ホタテetc)の不漁が多くの漁家を苦しめている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	事業所の再建は完全に回復したと思うが被災地特権が使えなくなり物品が売りづらくなっていると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	市街地に関してはお店が増えた印象がある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	仮設店舗もほぼなくなり、本設を再建できた方々が多いが、地域経済は復興事業が完遂するに向けて仕事が減ってきているように感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	建設関係は忙しいが、他の業種は震災直後に比べて回復がゆるやかだと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	魚が獲れないという現状が大きな問題になっていると思う。農産物については地元ブランドの野菜や果物も登場し今後のPR活動にも期待したい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	農業、漁業は農地の災害復旧、漁船、漁港の復旧は完了して以前と同様の活動をしている。しかし今年は漁業ではサンマ、サケ、アワビ等が不漁で地域経済に活気がみられない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	人口流出の影響、又、被災者個々の資産の減少等の為と思われるが、買い控えや冠婚葬祭の簡略、縮小が顕著になり商店街にとっては大きなマイナスの影響が出ているように思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業関係の数値が悪く心配。イカやサケが取れない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	水産業ではサケ・イカ・サンマなどの不漁で水揚げが減り、大きな影響があると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	人口流出による人手不足が顕著に出て来ている。事業を拡大できず維持できない事業主が増えている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	商業は人口減少、三陸道の延伸等により仙台圏や内陸圏に流出している。建設関連の復興需要は収束しつつある。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	中心市街地への店舗、事業所の再建はある程度進んでいると感じる。観光施設の完成もあり、県内・外から多くの観光客が訪れている一方で、市街地との往来に課題があると感じる。主要道路が整備中の要因があるが、魅力あるまちづくりに向け行政・民間との連携強化が必要である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	ハード面(作業所、工場など)はほぼすべて出来て動いているけど昨年からの水産物(ホタテ、サケ、サンマ)が不漁で水産加工は原料不足等で大変のようだ。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	温暖化により水産関係も影響があり、大変だと思う。自然には勝てないと実感している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	変わっていない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	漁協の販路が被災前の6割程度までしか回復していない。水産物の価格高騰によりそれを補っている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	水産業の基盤は整ったが肝心のサケやイカが取れない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	東日本大震災において被害を受けた水産業については施設や漁船などハード面のほかにも漁の再開度合いなどから回復が進んできていると感じられる。しかしながら直近の動向を見ると天候不順など温暖化の影響を受けていることも伺われるなど漁獲高については減少傾向が続くなど回復には停滞感も感じられるものとなってきている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	水産業は回復していると思うが、資源の面で十分な回復とはいえない。商業的な建物は良くなっていると思うが自動車道が出来ていくことで、良い影響ばかりでないことが予想されるとどちらとも言えない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	・海の町に活気がない。 ・人材不足は変わらない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	商業施設がかなり活気を取り戻している。一方で復興工事の終了による景気のかげりも感じられるようになった。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	東日本大震災津波との関係とは分かりませんが、近年の不漁で活気を感じられない。人口の流出、宮古・室蘭フェリー撤収むしろ減退している感じがある。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災後、新たな災害が次々と起こる。環境問題もからみ「回復」とはどんなことなのか複雑で答えにくい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	土木、建設業は三陸道の工事などのため仕事があるようだが、地域の商店は震災後に新しい道路が出来たために人の流れが変わり活気がないように思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	震災についてはほぼ回復したと思われるが台風関連の分で打撃を受けていると思う。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回にも記入したが、3.11東日本大震災襲来以来、地球温暖化現象も複合してか、海況が大変化となった。暖海域の魚類が収穫され基幹魚種であるサケ、スルメイカ漁等が不振続きで、定置漁業の経営を苦しめている。浅海養殖業は一応安定している。商工業は、復興工事が終わりに近くなり、建築作業員が激減。町の人口減となった。これに伴い商工業活動が停滞、特に飲食業が減退してきた。住宅再建もピークを過ぎた。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	魚が獲れないのでどうしようもない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	沿岸地域においては、サケ・サンマ・イカ漁が不漁であり人手不足や後継者不足の問題を抱えており魚菜市场等にも活気がみられないように感じる。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災後の補助事業等で個々の施設、整備、インフラの復興は完了し経済の活性化を期待したがその後二度の台風被害や最近の漁獲量の激減等によりあまり回復しているとは言えない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	農林水産業は浜が不漁で、かつてない。地域経済は大変だ。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業の不漁とともに仮設商店の店主の高齢化が進み、地域での生活が不便になりつつある。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	人手不足は深刻である。(震災だけが原因ではないと思うが)工事関係者が減り、ますます人が減っている印象を受ける。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	何といっても水産業の不振が大きいです。サケ・アワビ・イカ・サンマ・・・海の町「山田」にとっては痛手。また復興のため山田で働いていた方々が引き上げ、町の人口が減少。飲食業も厳しい現状のようだ。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	震災が理由かどうか分からないが津軽石川のサケの捕獲量が激減した。堤防工事の影響も多少なりともあるのではないかと。サケの捕獲量が以前と同じように戻ってほしい。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	漁業は震災の年から不漁。温暖化、プラスチックごみの問題もあると思うがサケ・ウニ・アワビなど不漁だ。豊かな海が再び戻ってきてほしいと思う。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路関連事業の振興によって地域経済は以前に比較すれば回復した感が強い。ただし、平成28年の台風被害やこの度の台風19号による被災によって更なる追い打ちによりいまだ復興途上と言わざるを得ない。地域の経済力からして時間がかかるものと思う。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	地域管理等色々出てきている感じがする。土地の欠陥が多すぎる。維持管理が出来ない。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興需要が一段落。最近是不漁の影響が非常に大きく、事業を維持するのが精いっぱい状況。回復は足踏み感がある。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	台風の被害で止まっている三鉄の復旧が早く進んで欲しい。買い物の移動に高齢者には非常に使いやすい交通機関だった。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	地域経済に関する情報に触れる機会がなかった。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	町中心部での再建を最初はためらっていた様だが、4、5軒家が建ち始めたら安全を確かめたかのように次々と建ち進んできた。当初この地には住めないと山手に居住し元地を手放した人も多く、他地区からの方が多く再建しているほか、駐車場も多く見られる。今も再建が続けられており元の中心部が蘇ってきている。皆様の日々の生活も落ち着いてきたとみられる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	東日本大震災に関しては上記の通りだが、その津波整備がその後起きた台風被害を引き起こした場所もある。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	平成31年度でハード面はすべて終了したことから、この6ヶ月は特に変わらないと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	39歳以下	男	八木地区の防潮堤が整備され三陸道路も工事が進んでいるので良かったと思う。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災前と変わらなくなった。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	地域の防潮堤工事が着実に進んでいるため。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事が進み、いま盛んに水門工事が行われている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	当市は9.6m～12.5mの巨大な防潮堤が建設されており、災害に強い安全なまちづくりを求め建設が進んでいるが、反面あまりにも巨大なため海側から高台に避難する事が震災以前より逆に難しくなった。それは避難するときの通用口が少なすぎる。よって、有事の際避難時間が20分～30分の時間を要するため大きな課題と思われる(高田松原の防潮堤)。また有事が発生した際、障がい者の避難が大きな課題である。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤などはかなり進んでいると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	陸前高田市・高田町及び気仙町は今も嵩上り工事中である。住民も老いてきたので住宅の建設はどのように成るのだろうか。嵩上り地は空地が多くなり、又老いた住民の宅地税の負担が大きくなるのではと思っている。売地看板が出るようになってきた。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	1 防潮堤工事は大分進んでいるが、肝心の水門や水門周辺の工事が遅れている為、全く安心出来ない。 2 避難誘導標識も中途半端な感じがする。インパクトがない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	津波対策については進んでいるが、想定外の災害が多様化し、行政の対応も厳しい(苦勞する)と感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	尊い命の安心安全のため、防潮堤工事の全容が見えてきた。国道45号線の改修工事も終盤を迎えている。 ただし、昨年の台風19号は、山田町にも甚大な被害をもたらした。集中豪雨は小さな澤まで巻き込み土石流が押し寄せ、大きな山津波となって道路等が決壊、住宅地になだれこんだ。町内田の浜地区は、被害家屋80世帯をこえた。 津波防波堤工事を施工したが、山津波対策が考慮になく、これの設計が課題となっている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域安全確保のための工事の進捗は遅れている感じであったが、最近国道45号線の改良工事、防潮堤及び水門の形が見え、生活環境が良くなった。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤、水門工事は今現在も行われており、完成までまだ月日がかかると思う。 海に近い所には住居はあまりないし、高く盛り土したり高い防潮堤が完成すると津波による災害が少なくなると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の整備完成はまだ2～3年先になると思われるが期待している。台風19号での田ノ浜防潮堤の二の舞にならないよう願っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤がまだ完成されてない所がある被災された家そのままの状態の所がある。(持ち主の希望かもしれない)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	道路の整備、街の復興事業の区画整理で快適になったものの、地球温暖化、異常気象などによる想定以上の風水害による被害は課題であり対策を継続して行く必要がある。 避難方法(高齢者等)、避難の時期、場所について日頃から周知する事を望む。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	津波防潮堤の整備は進んでいる。その面では良いのだが、近頃は大雨による被害があちこちで起こる。他所事ではなく、我町でも発生した。完全に安心、災害に強いは難しいと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	大船渡市の中心部にある台町地区。震災からもうすこしで9年が経過するが、津波で全壊した地域公民館が未だに再建されていない。地域の繋がりが、防災・防犯に対して最も重要なのに、その拠り所となる公民館施設がない。震災時には避難所の運営を率先して行い、他の地域から賞賛を得るほど地域の繋がりが充実していたのに、公民館施設の再建も俥ならず、公民館活動はレームダック状態に陥っている。このままでは災害が起こったときに、被害が大きくなる可能性が高い。復興には程遠い現実がこの地区にはある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	工事は確実に進んでいるものの、エリアによってはあと何年かかるのか先が見えない場所もある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	女	津波や地震、また他の自然災害から身を守る等のセミナー、イベントなどが以前に増して活発になっている。学校現場での防災教育の取組は子どもだけでなく、地域の大人に与える影響は大きい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	まだ防潮堤が完成していません。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤も着実に出来上がってきているので達成に近づいてきていると思う。 「災害に強い安全なまちづくり」に対する住民の意識がかなり薄れてきているのでそっこのほうが不安かもしれない。 どんなに立派な設備を造ったとしても人間自身が適切な行動をとらないとただの造形物になってしまう税金がもったいない。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の工事はだいぶ進み避難経路としての道路の整備も安全を前提に作られているように感じられる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	避難路(シンボルロード)も完成し、避難路がだいぶできてきた。 高田松原津波復興祈念公園も完成し、震災を伝承する施設が完成したことにより多くの方々に防災・減災、そして命の大切さを伝えることができるようになったと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	釜石市は今年の台風でも市内が冠水したり道が崩壊して孤立状態となり被害を大きかった。その為「災害に強いまち」と言うにはまだ課題が多いと感じている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	高田の道の駅が完成し、防潮堤を見て来たが、とても立派な造りだった。震災を忘れない施設は大事である。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	・復興道路の工事も進み開通もして進んでいると感じている。 ・水門の工事も目に見えてきてハード面では進んでいると思うが、住民意識は薄れてきているので意識の醸成も必要だと感じている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	防潮堤、避難道等の整備が確実に進んでおり、今までの様な津波等には対応できる様に思う。 海等が全く見えず、景色は全く変わり寂しい感はあるが、この景色に慣れていくのだろうと思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路が繋がっていく実感がある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸道の整備など震災前よりも交通の便が良くなった。 防潮堤の工事も進んできている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤、水門の完成を待っている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の工事は終盤になったが、近年の大型台風の襲来に備えて河川の護岸工事が必要である。地球温暖化という世界的な問題が原因と云われていることから、諸外国との議論や対策が必要である。 三陸鉄道の不通は住民にとって不便であり、大型台風でも壊れないような対策を講じて欲しい。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	まだ未完成の工事もあるので「達成した」としなかった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・私の地域(目の前)の防潮堤工事は完了しているが少し離れた地域ではまだ工事中なので。 ・新たな中間道工事について我家の裏山でかなり形をなしてきた。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事も進んでいるが、スピード感が鈍い。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	被災区域を通らずとも町の主要地域を往来可能にする道路網も整備された一方で、豪雨災害への対策はまだまだ不十分なものがあると感じている。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の整備が進んでおり、海対策は進展がみられる。一方で台風19号による被害で新たな課題も見つかった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	水門の建設が進んでいる。三陸沿岸道の工事が進んでいる。その他行政が津波、台風の復旧で苦労している様。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	39歳以下	男	地域の復興道路が次々に開通している。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村の防潮堤
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤については修復が完了しているものと見られるが平成28年の台風10号の被害が大きいものとなっている。現在は河川工事が進んでいるが、工事のための用地買収については進捗がまちまちな状況であり完全な回復までには時間がかかるものと思われる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	早く堤防のかさ上げを完成してほしい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤も完成間近。道路の開通も進み、安全なまちづくりは着々と進みつつある。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	ハード面だけを考えると「やや進んでいる」と思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤だけではなく、新たな災害にも予防対応が必要では。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	様々な工夫をしてまちづくりが進められていると思う。ただし浸水地に多く建物が作られており風化が加速していることに危機感も感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤も目に見えて出来上がってきており津波に対しては進んでいる状況がうかがえる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	津波伝承館もでき、災害に対する知識を得られるようになった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・ハード面での整備は着実に進んでいる。 ・津波伝承館のオープンにより震災を風化させずに市民が防災についての意識をもつことに繋がったと思う。但し、私も含めどうしても施設内を見ることができない人も陸前高田には多くいる。人々の心の復興もやはり必要だと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	釜石市中心部に排水用ポンプが設置されたが、台風19号ではその設備の効果は発揮されなかった。マスコミ等の呼びかけで、台風が来る前に避難している人もいたが、まだまだ動こうとせずにそのままの人々もいたので住民に対する呼びかけ等の働きかけの工夫がまだ必要である。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	道路開通のお陰でライフラインが確保されたような安心感がある。ただ、台風の被害にあった地域の復旧、今後の対策もこれからだと思うので、震災だけでなく様々な災害を想定したまちづくりが必要だと強く感じている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	津波対策は大きく進んでいると感じる。しかし数年前の台風10号や今年の台風19号被害を考えると河川氾濫への対策がもっと必要と感じる。恐さを感じる。人間優先はもちろんだがペット同伴避難も今からの時代は考えるべきと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	避難道路や施設はできた。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	三陸道がどんどんできてきており災害時に役立つと思うので。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路の建設も急ピッチで進んでおり、工事関係者の方は昼夜問わず作業が続けられているのを見ると頭が下がる思いだ。ただ普段使用する道路の工事が進められており安全面には十分留意されているものの、交通渋滞、事故等が心配である。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤の工事も進んできている。都市公園事業(津波防災緑地)の整備も出来て、普段は公園として活用し津波の時には緩衝機能を確保できるようになっている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	39歳以下	男	・台風での被害もあり、復興してただけに残念だ。 ・自動車専用道も整備され、沿岸を行き来しやすくなったが、以前の道沿いにあった商店等は大丈夫か心配である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	漁港の工事、整備がいまだ途中の様である。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の進捗に関してはよく分からない。とにかく津波に強い街作りを希望する。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤は徐々に出来上がっているが津波防災の為のみであり水害対策ではなく災害に強い安全なまちづくりとは何かと考えさせられる事があった。 前回の大雨の際、家の前が川の様な状況になり半日家の前を水深10cm程の水が流れていた。原因は国道の排水がされずその水が流れてきた為であった。今後水害対策も検討してほしい。 川底の砂利をとって川を深くできないものか検討してほしい。上流からの砂利が蓄積し下流は推積した砂利で水が出た際不安と思う。又川回りの木の伐採も必要と感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災とは別に気候変動による台風、水害等は毎年のように発生。 避難の声かけ、広報は早め早めの対応となっているが、避難所の受入体制等についてはまだまだとの声が聞かされた。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤がまだ完成していないので何かあったら大変だ。道の駅ができて人が集まっているのに安全に対してソフト面で不足していると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	台風19号により三鉄不通、市道陥没等(住宅水害)建設技術は向上していても、それぞれの地元の人たちの意見等(昔の人)の声はある程度参考にした方がいいと思う。「人の命にかえられるものはない」。 安全なまちづくり、ここまで年数は経っているので本当に防災に強いまちづくりを願っている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	台風により建設業の仕事が盛んで一日も早く安心して生活できる町になってほしい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	設計が悪い。台風ごときで大災害。人工池で津波より被害が出た。(排水悪く) 想定外は言い訳で素人目にも池になることは予想していた。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤や道路の整備は進んでいる。防潮堤の内側はどんどん寂れていく。いよいよ仮設店舗の主人は高齢化のため引退。地域のお店がまたひとつ減っていく。どうなっていくのか？何を守っていくのか？
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	津波対策が進んだ結果(影響)で普代村などは台風被害が大きくなったといわれている。すべての災害に備える事は難しいのか。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	東日本大震災以外にも3年前の台風10号、今年の台風19号など自然災害が多発している印象があり、防災への意識は高まっている。避難の呼びかけや避難所の備えは進んだように感じるが、弱者救済や避難所へのペット持込の可否など、住民側がもう少し踏み込んで考えることも増えてきた気がする。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	達成したかどうかは災害にあってみて判断できること。質問に違和感。 今取り組んでいることが果たして強くなったと言えるのか分かりません。(判断できかねる)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	進んでいるのだろうが、見た目にわかりにくい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	様々な災害を想定した予防的対策はおくれていると思う。(台風19号土砂災害等)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	かなり進んでいると思うが、台風や大雨で被害にあったところをみると新たな課題が次々とみえてくる。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	津波対策の防潮堤は完成した。しかし台風に対する対策は遅れており、東日本大震災、平成28年台風10号、令和元年台風19号と3回も被害にあった世帯もある。避難のための訓練やハザードマップの周知などのソフト面での対策と台風による内水氾濫のハード面の対策が必要である。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事をしているが、あと2年かかると言っている。震災から10年で完成するが、とても不便である。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	海岸の防潮堤の整備は進み三陸道も徐々に繋がってきているが、閉伊川の堤防(水門)の遅れが疑問であり、問題である。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	平成から令和に時代は変わっても地震や風水害等自然災害による被災は時を経るとともに大きさを増してきているように思える。今後も同様の災害が発生する可能性は高いし、過去の経験則は何の役にも立っていない。過去の災害は現在では日常に起こるべきものとらえて対応する必要がある。台風19号による被災はそのことを現実として教えてくれた。ダムが出来たから、防潮堤や河川の堤防が出来たから安心ではない。地域の連携にしても形はあるものの中味はないに等しい。洪水や土砂災害時には使用できない場所が何の反省もなく避難場所として指定されている現状を見ると空恐ろしい気がする。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	台風被害であちこち壊れていて、災害に強い安全なまちとは言い難い状況だが、震災後にできた新しい道路のお陰で孤立しなくて済んだのでそこは安心した。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	これまでは津波対策の一環として津波堤と田代川河口の水門工事を最優先事業として取り組んでいるが、いずれも完成時期が明らかにされておらず、常に不安を抱えている。また以前から心配されていた田老市街地の大雨による洪水被災が早くも現実のものとなり現在までのところ有効な防災対策が見いだされていない。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	田ノ浜が良い例であり(2019年台風19号)、新しくできた土地も同じ状況になりそうでかなり不安。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤は完成したものの災害時を想定した訓練がまだに行われていない。自動閉鎖システムの説明、訓練がまったくない。 ・理に合わない設計をしてもそのままの状態にある。自動閉鎖システムの受信室が想定より低いところにあり、水没の恐れが充分ある。 ・町内(荒川)をあげて防災士の増加を目指してはいるが、応募者が多く意欲がある者も受講に参加できない状況にある。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	女	防潮堤は集中整備に頑張っているようである。震災の跡地はまだ手をつけられていない。
わからない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の建設は進んで安全度が高まっていると思う。災害に強い町づくりのためにも地震津波だけでなく台風大雨などによる河川の氾濫、土砂災害に強い町づくりをお願いしたい。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	工事中の段階であり達成度はわかりかねる。

令和2年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

令和2年2月19日
岩手県 復興局 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6945

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)